

提出日： 令和3年1月14日

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」
をハードウェアから開発する - グループ名： Group B

担当教員名：三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 学籍番号 1018063 氏名 山本侑吾

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	7 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	6 /10	標準点：7点 ・ 誤字，脱字はないか？ 様式，体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく，再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	13 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	18 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	78 /100	

(注)週報の不備を，システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

まず、出席に関して無断欠席は一度もしていないのでこの評価で良い。週報は後期は忘れることなく毎週提出を行っていた。発表会は、スライド、動画を含めてかなりいいものが作れたと感じている。前期と比べて後期は質疑応答の時間も十分に確保でき、非常に良いものになった。積極性・協調性に関してはグループでの集まりや、作業中にそれらに関する質問ができた。計画性は、コロナ禍の影響をもろに受け、前期同様遅れ自体は出たものの成果発表までにはしっかりと成果物を作り上げることができ、全体としては影響がなかったのでこの評価とした。全体の成果としては成果物が期限内にしっかりと出来上がったこと、動作なども漏れがないこと、発表会などの出来を踏まえてこの評価とした。

3. 共同作業者によるコメント

須田恭平：

彼はグループ B のデザイン面の担当であり、Fusion360 を用いたデータの作成や出力を行っていました。プロジェクトを開始時から 3D プリンタを使った出力方法についての知識が身についており、細かい微調整の修正も素早くデータに反映してくれて、不備があった際にもすぐに出力して修正対応を行うことができました。

サイン 須田恭平

奥村輝：

ロボットの設計を担当してくれました。初めて使う Fusion360 というソフトで僕が上手く使いこなせなかったのですが、彼が先陣を切って設計を進めてくれました。彼がいなければ、今回のようなロボットを作ることができませんでした。同じ設計の担当をしてくれて、とても感謝しています。

サイン 奥村輝

對馬武郎：

主にロボットの設計を担当してもらいました。3D プリンターについて造詣が深く、微調整と出力を繰り返すこのプロジェクトにおいて非常に頼りになりました。

サイン 對馬武郎

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 高橋信行

教員サイン 鈴木昭二